

第59回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 大会要項

ver20210524

- 主催 日本学生自転車競技連盟
 共催 公益財団法人日本自転車競技連盟 一般社団法人埼玉県自転車競技連盟
 後援 国土交通省 利根川上流河川事務所 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会
 協賛 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社
 株式会社パールイズミ セイコータイムクリエーション株式会社 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)
- 期日 2021年6月5日(土) 11時30分 競技開始 代表者会議 / 6月3日(木) 20時よりリモートで
 会場 埼玉県利根川上流域南側 加須市・旧おとおね童謡のふる里室前発着 羽生市・昭和橋近傍折返し
 大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)加盟校の学校対抗形式によるチームロードレースの優勝校を決める大会とする。
- 競技種目 男子チーム・タイムトライアル・ロードレース: 63.2 km
 参加資格
1. 本年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録競技者。
 2. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかにかかわらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
 3. 参加各校は、公認審判員1名および立哨役員1名、もしくは立哨役員3名を供出すること。但し、本州以外に所在地がある学校については、公認審判員1名のみ、もしくは立哨役員2名を供出することとする。東京、埼玉およびその隣接県の学校は、上記の供出人数に加えもう1名の立哨役員を供出すること。立哨役員には、昼食が支給されるが交通費は支給されない。また、エントリー用紙に立哨役員氏名、性別、学年又は年齢および審判資格の有無と審判ライセンス番号を必ず記入すること。
 4. また、選手と立哨役員は体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
 5. 尚、本大会の参加選手、立哨役員並びにチームスタッフについては、PCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを参加条件とする。本大会開催当日までに報告がない場合は当該の参加選手、立哨役員並びにチームスタッフの参加を認めない。PCR検査の結果報告の方法などについての詳細は別途発表するコミュニケを参照すること。
 6. エントリー用紙に記入した立哨役員名を変更する場合は、大会開催3日前の6月2日(水) 22時までに当連盟事務局宛に変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の立哨役員の変更は認めない。尚、変更後の立哨役員の体調・体温の記録も同様に提出可能にし、PCR検査を行い当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを条件とする。尚、詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。また、立哨役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代わりの者を供出すること(代わりの立哨役員の体調・体温について提出可能にすること及びPCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを報告することを条件とし、代わりの立哨役員を出せない場合には、該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科すことを原則とする)。但し、新型コロナ感染の陽性者が出たことで、一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。立哨役員についての対応を協議した上で改めて指示する。
- 参加基準 各校1チームとし、チームは3名または4名の選手で構成し、また2名の補欠選手エントリーを認める。
 参加申込
1. 参加を希望する学校は、所定の様式にて本連盟事務局まで申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはFAXにて事務局宛、期限内に送付すること。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。概ね大会開催2週間前を目処に本連盟ウェブサイトへ受付完了者リストを公表するので、各自確認のこと。なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
 2. 参加料は1チームにつき18,000円とする。申込期限および参加料納入期限は、5月10日(月)必着とする。参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード名0605と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。振込先 長野県労働金庫(ろうきん)諏訪湖支店 普通9687348 口座名義 日本学生自転車競技連盟
 3. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
 4. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。但し、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合には参加料は返却しない。
- 会場入場
1. 本大会の会場への入場者に対する規制(管理エリアの指定と管理エリアに入場できる対象者など)については、別途発表するコミュニケを参照すること。また、大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、メ

ディア関係者、その他の関係者はPCR検査を受け、当日に陰性もしくは低リスクであることを当連盟に報告することを入場の条件とする。当日までに陰性もしくは低リスクであることを証明することができない場合は、そのチームスタッフ、メディア関係者、その他の関係者の入場は一切認めない。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。

2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手1名につきスタッフ2名を上限（飲食料の補給スタッフを含む）として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場、チームPITおよび車輪・器材交換の指定PITへの入場も許可しない。
3. チームスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の6月2日（水）22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすること及びPCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを報告することを条件とする。
4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。また、選手の参加資格2.にありますがように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日前からの体調・体温についての記録を記入して大会当日に大会本部に提出して頂く必要があるとともに、PCR検査を受けて大会当日に陰性もしくは低リスクであることを証明することができるようにすることが必要です。証明することができない場合は、競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員のためご理解ください。

- 選手受付
1. ライセンスコントロールは事前にデータ上で行き、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取ること。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。
 2. 参加者は、自転車・ヘルメットを持参してそれぞれの出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については基本的に選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。尚、出走サインは行わないので、出走1時間前までに出走メンバーのリストをセクレタリまで提出すること。
 3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
- 賞典
1. 開会式・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。表彰式は第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第、フィニッシュライン付近にて行う。
 2. 優勝チームに優勝杯、チャンピオンジャージ、賞状を授与する。第2位および第3位に、賞品と賞状を授与する。第4位から第8位に、賞状を授与する。
- 事故措置
1. 競技中発生した事故等につき、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応の事。
 2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

- 競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。
- 事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

特別規則

- 第1条（スタート・走行） 各チームのスタート間隔は、前年の上位8校は2分、その他は1分とする。前年度上位校から順に発走する。競技中は、原則として左側通行とする。
- 第2条（計時） 各チームの3番目選手がフィニッシュラインを通過したときにタイムを計時する。
- 第3条（食料補給） 飲食料の補給は、フィニッシュ側折返し地点の認められた場所において每周回認める。
- 第4条（PIT及び車輪・器材交換） コミュニケで指定する箇所のPITでのみ車輪・器材交換を認める。各チームはPITに1～2名の人員が待機することができるが、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。また、前年度上位8校にはMOTO審判がつくが、担当する上位8校の各チームから車輪を1ペア、交換用器材としてMOTO車両に積載することができる。
- 第5条（ギア比） ジュニアのギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。
- 第6条（無線通信） レース中の競技者相互・競技者と監督間の無線通信を、競技運営ならびに安全性を妨げない範囲において認める。（UCI規則2.2.024条、JCF規則第28条1参照のこと）
- 第7条（代表者会議） 2021年6月3日（木）20時00分より、事前にリモートでチーム代表者会議を行う。参加チームの監督、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者E-mailアドレスに送付します。
- 第8条（その他） 一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。